

科目	単位 (時間数)	時期	講師名 (職名) (時間数)		
助産管理学	2 (30)	1 学期	① 教育主事 (助産師)	(16)	
		2 学期	② 院外講師 (助産師)	(4)	
			③ 院外講師 (助産師)	(4)	
		④ 院内講師 (助産師)	(6)		
目 標					
助産業務の管理および病院・助産所の管理の基本と、周産期の医療安全・連携・協働について必要な基礎的知識を修得できる。					
回	時間	項目	授業内容	授業方法	講師
1	2	助産所の管理・運営	1) 助産管理の概念 2) 助産所における助産管理 ①助産所に関する関係法規 ②助産所の安全管理 ③助産所の経営 ④医療機関との連携 オープンシステム、助産外来・院内助産	講義	①
2	2		3) 周産期医療における連携・協働 周産期医療システムについて		
			4) 地域における助産管理 ・地域/多職種との連携と助産師の役割 ①地域包括ケアシステム ②子育て世代包括支援センター	講義	
3	2		③地域における助産所の活動 女性の健康と助産師 地域における助産師の役割、連携	講義	②
4	2		地域における助産師活動の実際	講義	
5	2		④助産所の管理・運営の実際 ・助産所業務ガイドライン ・助産所での分娩の適応基準 ・嘱託医及び嘱託医療機関との連携・協働 ・救急時の搬送と搬送基準	講義	③
6	2		・環境・設備・備品の整備 ・地域行政との連携 ・オープンシステムの運営 ・産後ケア事業の実際	講義	
7	2	周産期医療における連携・協働	1) 地域における周産期医療体制 各自の出身都道府県の周産期医療体制についてプレゼンテーション	講義	①
8	2				

9	2	助産管理の基本と助産業務管理	1) 助産管理の基本、業務管理の過程 ・業務分析・目標管理・評価 ・PDCA サイクル ・人事、物品、経済、情報、時間 ・人材育成 ・業務の質の管理 ・助産サービスの評価 2) 産科棟における助産管理 ・看護サービスマネジメントと診療報酬 ・業務基準・手順の作成と検討 ・看護記録 ・教育の管理	講義	④
10	2	助産業務管理と医療経済	1) 医療保険制度 2) 診療報酬 3) 分娩費用、健康診査に係わる費用 4) 出産育児一時金	講義	
11	2	周産期における医療安全	1) 周産期のリスクマネジメント ①医療事故防止、感染対策 ②事故対応と損害賠償 ③産科医療補償制度 2) 災害の備え、災害対策・支援活動 災害訓練、物品の備え、発災時の初期対応支援活動		
12	2	助産師及び助産師の業務に関わる法と責任	1) 助産業務に関わる関係法規 2) 助産師の法的義務・届出に係る関係法規	講義	①
13	2		3) 女性の支援に関わる関係法規 4) 子供の支援に関わる関係法規	講義	
14	3	助産管理の基本と助産業務管理	1) 看護師長による業務管理の実際 ・労務管理 ・看護提供方式と業務管理 ・時間管理、業務割当、問題対応の実際 (グループワーク)	講義 GW	
15	1	終講試験 (45分)		試験	①
授業形態		講義			
評価方法 点数配分		筆記試験 100点 (講師①70点 講師④ 30点) 履修規程第5条、第6条に定めるとおりとする。			
テキスト		講師①～④ ・助産学講座 10 ・助産業務ガイドライン			
参考図書等		・下記のものは必要に応じて、各種ホームページよりダウンロードしておくこと。 ・院内助産・助産師外来ガイドライン (日本看護協会) ・産後ケア事業ガイドライン (厚生労働省) ・子育て世代包括支援センター業務ガイドライン (厚生労働省) ・分娩施設における災害発生時の対応マニュアル作成ガイド (日本看護協会)			
備考		講師の授業時期は並行あるいは前後することがある。			